

番号	該当頁	意見（概要）	市の考え方	対応
1	40	<p>基本方針2 (1) 機能集約・廃止に関する取組方針について</p> <p>人口構造や市民ニーズ、生活様式の変化を踏まえ、施設やサービスのあり方の見直しが必要とありますが、具体的にどのように見直したのでしょうか。</p>	<p>機能集約や廃止を含めた公共施設等の配置やサービスのあり方を見直すにあたっては、市民ニーズも踏まえて検討を進めていくという方針として示したものです。</p>	B
2	40	<p>基本方針2 (2) 近隣市町との広域連携に関する取組方針</p> <p>「近隣自治体と広域連携して公共施設等を整備・運営」とありますが、具体的にどのようなことが考えられるか、現時点での計画を教えてください。</p>	<p>具体的には、名古屋市等との消防指令業務の共同運用に向けて設備の整備や運用の計画を進めているところです。</p> <p>今後も、本市の人口予測や公共施設等の更新にかかる費用を踏まえると、効率的かつ効果的に市民サービスを提供していくために、広域連携の可能性を検討していくことは必要であるという方針を示したものです。</p>	B
3	41	<p>基本方針3 遊休資産の活用に関する取組方針について</p> <p>にじの丘学園の整備の伴い発生した小学校跡地について、市が新しい施設として利用することは考えていないのでしょうか。近隣市では、小学校跡地を活用するなどして、幅広い世代が交流できる複合施設や、親子で遊べる施設が整備されており、瀬戸市からも多くの親子が利用しています。</p> <p>こういうことが遊休資産を使って瀬戸市でもできないのでしょうか。近隣の市と比べて子ども達が楽しめる施設が瀬戸市は圧倒的に少ないのです。瀬戸市に遊ぶ場所がないから、他市に交通費を使って遊びに行くしかないのが、瀬戸市の子育て世代の悲しい現状です。ぜひとも学校跡地を使って子ども達や地域住民が過ごせる場所づくりを瀬戸市で検討していただきたいです。</p>	<p>計画的な公共施設等の管理を実施する財源確保の方針として、遊休資産の活用に関する取組方針を示したものです。</p> <p>そのうち、ご意見をいただいたにじの丘学園の整備に伴い発生した小学校跡地については、地域の現状や市のまちづくりの方向性などを踏まえて、地域との意見交換を重ねながら方針を決め、民間活力を積極的に導入することとし、現在取り組んでいるところです。</p> <p>いただいたご意見につきましては、学校跡地利活用や、その他事業の参考とさせていただきます。</p>	C